

◆◆在宅看護論実習

目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、地域における看護の機能と役割の実際について学ぶ。

目標

- 1 在宅で療養生活をしている人々への訪問を通して、療養している対象者と家族に対する看護の役割が理解できる。
- 2 在宅で療養する人々を支える地域包括ケアシステムを理解し、関連機関や関連職種との連携および社会資源の活用方法について理解できる。
- 3 地域における健康の保持増進・疾病の予防に対する様々な活動に参加し、看護師および他職種の役割について理解できる。

実習内訳

科 目		単 位 (時間)
在宅看護論実習	在宅で療養している療養者、家族を対象とした看護	56 時間
	地域で生活している人を支える看護	24 時間
	実践活動外学習	10 時間
合 計		2 単位 (90 時間)

実践活動外学習

目 的	内 容	時間数
1 実践活動をイメージし、実習目標達成に必要な準備を整える。	(1) 実習を円滑に実施するために必要な施設概要 (2) 訪問看護に必要な情報収集の視点についての確認 (3) 訪問看護におけるマナーの確認	2 時間
2 実習目標達成に向けて到達状況を査定し、より質の高い実践活動にむけて取り組む。	(1) 療養者固有の状態や生活に合わせた看護を実践するための事例検討	8 時間
3 在宅ケアにおけるリスクマネジメントについて理解を深める。	(1) 事例検討の発表の際に、在宅におけるリスクマネジメントの視点を広げるための意見交換	

行動目標	実習内容	実習方法
<p>1 在宅療養者と家族の健康状態や生活状況を把握し、療養上の問題が理解できる。</p>	<p>1) 在宅療養者の生活する地域特徴の理解 (1) 訪問看護ステーション所在地地域の特徴：高齢化率、産業、生活者の経済レベルなど) (2) 訪問看護ステーションの概要（設置主体、理念、職員構成、併設事業、連携する関係機関） (3) 訪問看護ステーションの機能と業務の流れ</p> <p>2) 訪問看護の現状 (1)訪問内容と頻度・件数 (2)疾病や障害の種類と程度 (3)各制度と利用状況 ①介護保険（介護区分） ②医療保険 ③公的医療補助 ④障害者総合支援法 ⑤社会福祉制度</p> <p>3) 在宅療養者・家族の生活状況・生活環境の理解 家族構成（キーパーソン）、介護状況、住環境、治療状況、寝たきり度、自立度、介護保険認定、保険の種類、利用している社会資源、訪問看護内容、疾患、症状や障害の状況、治療方針と内容、現病歴、訪問看護の経過、介護状況など。</p> <p>4) 在宅療養者の疾病や障害の理解 5) 疾病や障害が日常生活に及ぼす影響 6) 在宅療養者と家族が抱える療養上の問題 7) 在宅療養者と家族の意向と訪問看護への要望</p>	<p>行動目標 1. 2. 3 *訪問看護ステーションで、複数の療養者宅へ訪問看護師と同行訪問し学ぶ。その中で受け持ち療養者を一人決定し、看護過程を展開する。</p> <p>1 -1)2) (1) 事前学習をし、各訪問看護ステーションでオリエンテーションを受ける。 (2) カンファレンスで、各訪問看護ステーションの概要を伝達し合い、それぞれの特徴を確認する。</p> <p>1 -3)4)5) 6)7) (1) 同行訪問での観察や記録から情報収集をする。 (2) 得られた情報から療養者の日常生活を科学的に分析解釈し、療養図に整理する。 (3) 訪問中に療養者・家族から意向や考えを聞く。または、スタッフに療養者・家族の考えを確認する。</p>
<p>2 在宅療養者と家族に必要な看護を理解し、意向にそって援助できる。</p>	<p>1) 在宅療養者と家族の意向を尊重した看護計画の立案 2) 在宅療養者・家族の生活環境や生活能力に合わせた看護方法の理解と実施 3) 在宅療養者と家族への倫理的配慮の実施 4) 経済性や時間配分を配慮した援助の必要性の理解と実施 5) 基本的訪問マナーの実施 (1) 服装、態度、言葉使い (2) 感染防止（手洗い、うがい、汚物の取り扱い、必要時、手袋・マ</p>	<p>2 -1)2)3)4)5)6)7)8) (1) 同行訪問にて、療養者宅の状況に合わせた看護師のかかわり、援助方法の工夫を見学する (2) 整理された療養図から看護問題を明確化し、生活環境・生活能力・意向を踏まえた看護計画を立案する (3) 立案した看護計画を基に行動計画を作成する。 (4)実施する行動計画についてスタッフと調整し、経済性・時間配分に配慮し実施する。</p>

行動目標	実習内容	実習方法
<p>3 在宅療養者と家族を支える社会資源の活用方法と他職種との連携・協働が理解できる。</p>	<p>スク・エプロンの着用)</p> <p>6) 療養者・家族に合わせたコミュニケーション</p> <p>(1) 療養者・家族を配慮した態度</p> <p>(2) コミュニケーション手段の選択</p> <p>(3) 自然な雰囲気づくり</p> <p>7) 訪問看護ステーション職員との調整</p> <p>8) 安全で効率のよい同行訪問の実施</p> <p>1) 在宅療養者が利用している社会資源の内容と経費 (往診、訪問看護、訪問介護、訪問入浴、デイサービス、ショートステイ、福祉用具等)</p> <p>2) 在宅療養を支える社会制度、社会システム、社会資源の活用方法</p> <p>(1) 介護保険法</p> <p>(2) 医療保険法</p> <p>(3) 障害者総合支援法</p> <p>(4) 生活保護法 など</p> <p>3) 在宅療養者を支える在宅ケアチームメンバーとの連携・協働の方法の理解</p> <p>(1) サービス担当者会議</p> <p>(2) 退院調整</p>	<p>(5) 実施または見学した内容をもとに評価し計画の修正をする。</p> <p>(6) 基本的マナーをもって同行訪問する。</p> <p>(7) 療養者に合わせたコミュニケーションを考え実施する。</p> <p>(8) 療養者・家族のプライバシー、個人情報情報を管理する。</p> <p>(9) 時間の管理をしながら、事前に訪問準備をし、スタッフと同行訪問の調整を図る。</p> <p>(10) 交通ルールを守り、スタッフと同行訪問を行う。</p> <p>(1) 受け持ち療養者が利用している社会資源の法的根拠を復習し、それぞれの費用計算をして月の利用者負担額を求める。</p> <p>(2) 療養者が利用している社会資源と社会制度の関連を療養図で整理する。</p> <p>(3) 療養者にかかわる在宅ケアチームのメンバーを知る。</p> <p>(4) 訪問看護師との同行訪問を通じてケアチームとどのように連携しているかを知る。</p> <p><u>*レポート課題 (800～1200字程度)</u> 実習後：「訪問看護ステーション実習での学びと今後の課題」</p>

行動目標	実習内容	実習方法
<p>4 地域で生活する人の健康生活を支える活動が理解できる。</p>	<p>1) 地域におけるデイサービスの機能と役割の理解 (1) 利用者の特徴 (2) プログラム内容と目的 (3) 生活介護の実際</p> <p>2) 地域におけるショートステイの機能と役割の理解 (1) 利用者の特徴 (2) プログラム内容と目的 (3) 生活介護の実際 (4) 入所・退所時の家族への援助</p> <p>3) 地域における包括支援センターの機能と役割の理解 (1) 介護相談 (2) 介護予防プラン作成 (3) 利用者宅訪問 (4) 他職種への連携、ケアマネジャー支援 (5) 権利擁護 (6) 地域包括ケアシステム</p> <p>4) 地域生活を支える専門職種間の連携・協働の理解と継続看護の必要性の理解。</p>	<p>行動目標 4.5</p> <p>*地域包括支援センター、デイサービス（通所介護）、ショートステイ（短期入所生活介護）の三施設をローテーションして学ぶ。</p> <p>4-1)2)3)4)</p> <p>(1) 高齢者施設で、施設の概要と機能についてオリエンテーションを受ける。</p> <p>(2) デイサービス、ショートステイのプログラムに参加し、利用者の状況やプログラムの目的、利用者個々に合わせたサービスの実際を知る。</p> <p>(3) ショートステイの入所、退所時の状況を見学し、在宅介護の継続性と家族への援助について学ぶ。</p> <p>(4) 包括支援センターのスタッフに付いて実際の業務を見学する。</p> <p>(5) デイサービス・ショートステイ・包括支援センターでの看護師の働きを見学し、それぞれの機関における看護の役割について考える。</p> <p>(6) 継続看護や他職種との協働のための連携の実際を知る。</p> <p>*実習後の学びの共有のカンファレンスで、「地域の生活者を支える看護での学びと自己の課題」について自分の意見や考えを述べられるようにまとめておく。</p>
<p>5 地域で生活する人への看護の役割と責務について理解できる。</p>	<p>1) 在宅ケアチームにおける看護の役割の理解</p> <p>2) 在宅看護の現状の課題と今後の展望</p>	<p>5-1)2)</p> <p>(1)3 週間の実習を通して、看護の役割と責任について考えをまとめる。</p> <p>(2) 在宅看護における様々な課題や今後の展望について考える</p> <p>(3) 学生カンファレンスで相互の体験を話し合い、学びを共有する。</p> <p>*レポート：「<u>地域実習での学び</u>」 (800～1200 字程度) 最終記録提出日に提出</p>